

エコ・カレッジ通信は毎月(第3火曜日)定期開催される北海道 GPN エコ・カレッジカフェでの学生・企業の環境活動等の取組事例を紹介します。今回第12号はエコ・カレッジカフェ第12回目(12月15日、会場アースカフェ・インザループ、)の発表内容を掲載します。

なお、今回を持ちましてエコ・カレッジカフェは一時休講とさせていただき、リニューアルを含め来たる時期にまた開講する予定です。今まで参加していただいた皆様、ありがとうございました。そして、次回以降にご期待ください。

『クッチャロ湖プロジェクト』

北海道大学 理学部 青江 翔太郎 君

実施概要

- ・ 場所: 北海道枝幸郡浜頓別町クッチャロ湖周辺
- ・ 参加者: 大学生約100名(首都圏70名、北海道30名)、その他地元の方々200名程度
- ・ 共催: 東宗谷農業協同組合、頓別漁業協同組合、NPO法人クッチャロ湖エコワーカーズ



背景

クッチャロ湖プロジェクトはCASEという学生環境サミットの継続プロジェクトとして進化していきます。

<2008年9月>

CASEは「人と地球のつきあい方」を理念として掲げ、「水資源とワイズユース」をテーマに、自然や地元の人々とふれ合いながら、環境の保全と地域の活性化を両立させるアイデアを創出することを目的として、全国のラムサール条約締結湿地にて学生環境サミットを主催する団体です。2008年9月には、「クッチャロ湖(北海道浜頓別町、日本最北端のラムサール条約登録湿地)」において、全国の環境問題に関心のある学生・地元の住民約200名を巻き込んで「CASE1 クッチャロ湖学生環境サミット」を開催しました。

<2009年>

2年目を迎えたプロジェクトは地元住民の協力層を、「若者」である高校生へと広げ、交流会やワークショップを行うなど地元住民との密接な信頼関係を築き、3月にはNPOクッチャロ湖エコワーカーズ主催「環境フォーラム」で講演し、8月には「はまもん魅力発見プログラム2009」という、都会の大学生が地元住民へ地元の魅力をプレゼンテーションする発表会・交流会を行った。

活動の趣旨 飛躍の3年目

- ・ 2010年、プロジェクトの名称を「クッチャロ湖プロジェクト」に統一
- ・ 目標: 環境の保全と利用という観点に基づきグリーンツーリズムのモデルケースを実践することを目標に掲げています。
- ・ 3年目の独自性:
 - ① ツアーターゲットに北海道在住の大学生を含む
 - ② 域内におけるたこ壺型の組織を統合する
 - ③ グリーンツアーのビジネス化を見据えている

活動の内容

- ・ 2010年8月に北海道浜頓別町において、都会の大学生約100名（環境問題に関心の高い学生に限らない）を対象とした以下のようなグリーンツアーと事前企画を計画しています。
- ・ グリーンツーリズムのシステム化・環境保全と地域活性化の両立を目標に活動していこうと考えております。
- ・ はまもんグリーンツアー：2010年8月4日（水）～8日（日）
- ・ 都会の大学生が酪農体験や漁業体験などの自然体験・産業体験を通して、景観豊かな浜頓別町の魅力を体感できるグリーンツアーを開催し、地元住民との交流によって認識した課題をもとに、農漁村滞在型のグリーンツーリズムのよりよいあり方を提言する。提言された内容は滞在型観光の育成に積極的に活かし、グリーンツーリズムのモデルケースを構成する。
- ・ 事前計画CASE1 stage2で行われた提案の実行2010年3月
- ・ 専門性を有した大学生による、町の現状やグリーンツーリズムに関する講義を地元住民に対して行う。提案が一方的なものにならないよう、講義終了後には地元住民との意見交換を行う。講義に参加していただいた地元住民の方々にはガイドとして上記のグリーンツアーに参加していただく予定。

浜頓別町の状況・活動の背景

○現状・問題点

北海道浜頓別町は人口4,189人（平成21年11月現在）の小さな町であるが、日本最北のラムサール条約登録湿地であるクッチャ口湖や北オホーツク道立自然公園など豊かな自然を有している。

一方でクッチャ口湖の海水化や生態系の崩壊など環境の衰退、年100人程度の人口流出といった問題が山積している。

○活動の必要性・妥当性

上記の問題を解決するには、浜頓別町の自然環境を保全し利用する取組が欠かせない。こうした人材を確保するためには、住民が地域資源の魅力と課題を自覚することが有効であると考えられる。住民が都会の人間との交流を通じて都会から見た浜頓別町を意識することは、将来の産業のありかたを考えることや、NPO団体が行う自然環境に配慮した活動への参加につながっていく。

浜頓別町が策定した平成21年度をスタートとする「第5次浜頓別町まちづくり計画」では「豊かな自然環境を活かしたまちづくり」が第一の目標に掲げられており、NPO団体は「自然と人間が共生できる社会づくり」を方針に上げている。自然環境に配慮した町づくりを実践していく本活動は、町や現地のNPO団体の意向に沿ったものと言うことができる。

活動の展望

浜頓別町および国内の他地域において活動を行っていく

〔浜頓別〕

- ・ 都会の若者と地域住民が交流できる場を継続的に設ける
- ・ 地元住民の参加者の裾野を広げる
- ・ ツアーターゲットを東京や北海道の大学生に限定せず、他の地域（外国人観光客含む）や年齢層に拡大する冬季仕様のツアーを作成する

〔他地域〕

- ・ 「グリーンツーリズムを通じた地域活性化」のモデルケースを他地域に発信する
- ・ 「グリーンツアー」をパッケージ・商品化する
- ・ 観光地として「浜頓別」をブランド化する

協働する主体

- ・ NPO法人クッチャ口湖エコワーカーズ
- ・ 浜頓別町役場
- ・ 浜頓別高校
- ・ **北海道の大学生**
- ・ 協賛企業、後援団体
- ・ 東京大学の教員（講師として検討中）

企画実現までのスケジュール

2009年

- 8月継続プロジェクトとして始動
- 10月浜頓別町訪問第1回全国エコツーリズム学生シンポジウム出展
- 12月浜頓別町訪問高校生とのトークセッション・交流会を実施
- 第7回全国大学生環境活動コンテスト出展

2010年

- 3月NPOクッチャロ湖エコワーカーズ主催「環境フォーラム」にて「はまもん大学」を開講
- 5月浜頓別町訪問グリーンツアー参加者募集
- 6月浜頓別町訪問グリーンツアー参加者募集
- 8月グリーンツアーを開催
- 9月以降～ アフターケア、システム化⇒CASE1stage4に向けて興味を持った方は…

連絡先：CASE事務局（レッドキューブ株式会社内）

〒107-0052

東京都港区赤坂6-9-5氷川アネックス2号館5F

TEL.03-6234-4983 FAX.03-6234-4981

E-mail case@redcube.jp_

オルタナビジネスコミュニティ

『物事を「有限」と「無限」で整理してみよう。』
北海道幹事(世界人大学代表) 横山 光紀 氏

貴方にとっての Sustainable な社会とは(1)

《Sustain の意味》

- 1 …を養う, 扶養する;〈生命を〉維持する;
〈行為な どを〉持続する;〈施設などを〉(資金を提供して)維持する
 - ・make a sustained effort
たゆまぬ努力をする
 - ・sustain the listeners(′) interest
聴衆の関心を持続させる
 - ・Food and water sustain life.
生命は食糧と水分で維持される
 - ・The government sustains poor families.
政府が貧しい家族の生活扶助をしている。
- 2 〈人・心・気持ちを〉元気づける, 励ます.
- 3 ((形式))〈物が〉〈建物を〉支える;〈建物などが〉…の重さに耐える;〈苦難・圧力・衝撃などに〉耐える, 屈しない
 - ・This shelf cannot sustain the weight of the books.
この棚は本の重さを支えられない。
- 4 ((形式))〈傷・損失などを〉被る, 受ける.
- 5 ((形式))〈主義・学説などを〉支持する;〈裁判官が〉〈主張・異議などを〉承認する;〈陳述などを〉確認[立証]する.
 - ・Objection sustained.
(裁判官が)異議を認めます。
- 6 〈役を〉巧みに演じる, りっぱにこなす.



貴方にとっての Sustainable な社会とは(2)

地球温暖化などの気候変動を抑えたいのか？

僕が、持続可能な社会にこだわる理由

気候変動というよりも限られた資源(時間、人、土地、物、食糧)で、次世代に、何を残していけるのか？
どうやったら支え合っていけるのか？ に興味がある。

環境を学ぶ人に知って欲しい熱力学の法則

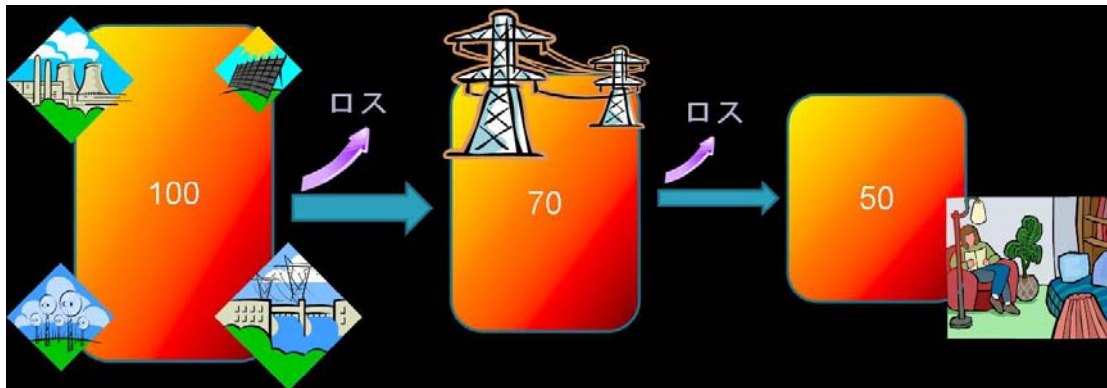
環境問題はエネルギーの問題

熱力学の法則⇒エネルギーを理解する法則

- ◎ 熱力学第一法則～エネルギー保存の法則
エネルギーの由来と行く末を理解する。
- ◎ 熱力学第二法則～エントロピーは増大する
～時間は一方向
世の中は複雑で多様化していく。

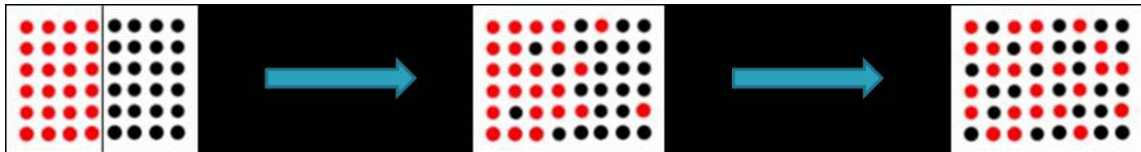
エネルギー保存の法則

- ◎ 閉じた系でのエネルギーの総量は一定
- ◎ エネルギー源の無いところからエネルギーは生まれない。⇔プロセス(仕事)によってエネルギーはロスをする



エントロピーは増大する

- ◎ 放っておくと無秩序さ(エントロピー)はどんどん増えていく。
(次の日のカレーの方が、よりおいしい。)



- ◎ 地球上も放っておくとゴミや汚れ、廃物、どんどん増える？
- ◎ 僕は過去には戻れない⇒非文明社会には戻れない。
- ◎ COP15の結果がどうあれ⇒世界の流れは止められない

再確認: 熱力学の法則

- ◎ 熱力学第一法則～エネルギー保存の法則
エネルギーの由来と行く末を理解する。
物質の由来、因果関係を系を意識して考える。
- ◎ 熱力学第二法則～エントロピーは増大する
～時間は一方向
世の中は複雑で多様化していく。
価値観も多様化していく。
仕事も増える……。

これまでの経済の仕組みに無理があったのでは？(限界を超えた。)

資本主義経済に基づく社会(市場が決めるシステム)

- ◎ 頑張った人が頑張った分だけ手に入れることができる。
- ◎ 格差(強者、弱者)が生まれる。
- ◎ 独占が生まれる可能性がある。

社会主義経済に基づく社会(計画によるシステム)

- ◎ 計画的に、シェアをするしくみ。
- ◎ 努力しなくてもよくなる。
- ◎ 分配計画者が独裁者になる可能性がある。

どちらのシステムも独占、独裁に進んでいく。(進んできた。)

- ⇒ 何か、どこかに負荷(無理)がかかる。
- ⇒ 次世代に、負担を強いる。
- ⇒ 持続不可能

「有限」と「無限」を意識した経済

有限」と「無限」を区別し、有限のものはシェア、無限のものは大いに利用しようという考え方の提案

- ◎ 「有限」なもの
限りあることが明確なもの。
人間の営みによって限界がみえるもの。
- ◎ 「無限」なもの
概念的なもの。
人間の営みによって、総量の変化が無視できるもの

有限なもの、無限なもの(例)

有限なもの地球上の物質・資源

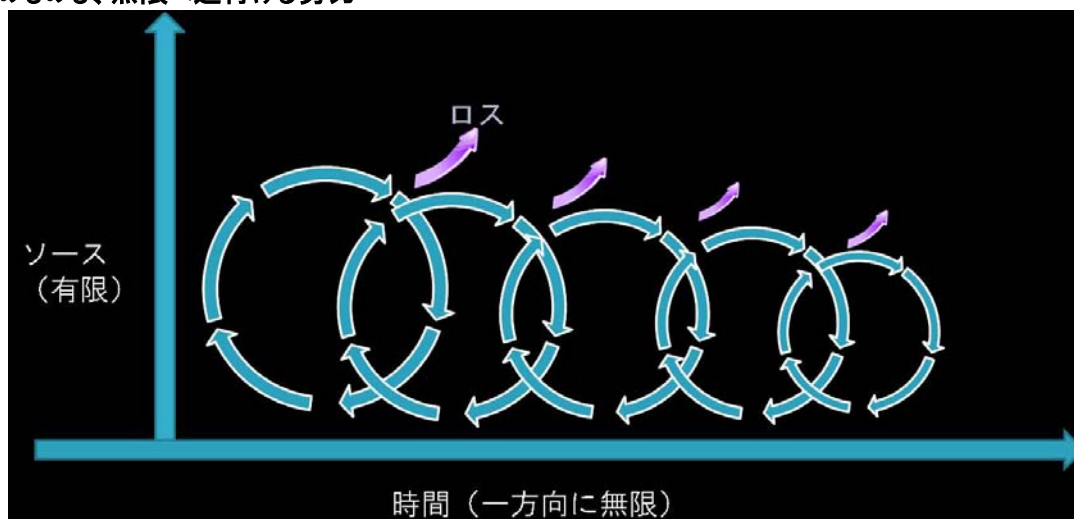
- ◎ 水、石油、鉄、土地、生命
無限なもの概念的なもの、地球という閉ざされた系以外のもの
- ◎ 太陽エネルギー(地球の外から)、お金、知識、情熱

《ポイント》

何が有限か、無限かということで一つ一つ細かい定義で議論するのではなく、持続可能な社会を目指していくうえで、シェアした方がよいのか？どんどん手に入れてもよいのかをそれぞれが考えることが重要。

⇒無限なものを扱う限り、発展を制限する必要がない。

有限のものも、無限へ近付ける努力



エネルギー保存の法則に基づいて

- ・ロスを少なくする
- ・他の系から、取り入れる。

20 世紀型文明から 21 世紀型文明

	20 世紀型文明	21 世紀型文明
支える科学	力学・電磁気学	量子力学
基本技術	内燃機関、火力発電、 高炉法による製鉄	太陽電池、リチウムイオン電池、 ネオジウム-鉄磁石
エネルギー源	化石燃料(有限)	太陽光(無限)
応用技術の例 (自動車分野)	内燃機関自動車	電気自動車
恩恵を受ける人々	先進国中心(有限)	世界全体(有限)

参考: 脱「ひとり勝ち」文明論 清水浩 ミシマ社

「有限」と「無限」を知った後で・・・

有限」と「無限」を区別できたあと実践する僕らの在り方

- ◎ Responsibility 責任感
- ◎ Integrity 誠実さ
- ◎ Imagination 想像力

Responsibility を知る社会(1)

Response + Ability ⇒ Responsibility

RESPONSE: 応答, 返答; 感応, 反応, 反響((to ...))

ABILITY: 能力, 力; (…の)才能, 手腕, 力量((in, for ...)); (…する)腕前((to do))

Responsibility とは

何らかの出来事、物事、問いかけに対して「レスポンス」する「能力」として課せられているあり方。立場

Responsibility を知る社会(2)

- ◎ Responsibility から逃げない。立場をとる。
能力(Ability)に基づくものだから。
能力は無限に成長する。

Integrity に基づく社会

Integrity 誠実さ完全性, 整合性, 統合性

- ・自分のあり方(立場)に対して、誠実か？
- ・他人に対して誠実か？
- ・社会に対して誠実か？
- ・誠実ではない自分を認めることに誠実か？
- ・完全ではない他人に対して誠実か？
- ・理想的な状態ではない社会に対して誠実か？
- ・自分自身の限界をすることで無限の可能性を見出す誠実さ

Integral Integrity



ひとによって能力は様々

できること、できるだけ。
誠実さの総和は無限

Integrity 誠実さ
自分のあり方に整合性がとれている姿

未来への Imagination (想像力)

- ・自分自身と社会の繋がり想像
 - ・活動、行為、発言がおよぼす影響に対する想像
 - ・過去や、現在からの未来への想像
 - ・社会的想像力
- ⇒ 想像から創造へ

持続可能な社会に向けて

- ◎ 「有限」と「無限」を、意識して
- ◎ 自分自身の能力に応じた立場をとり
- ◎ 誠実に行動し、
- ◎ 未来を想像し、
- ◎ とともに継続して行動できる仲間を増やす。

例) 北海道GPN

オルタナビジネスコミュニティ

無理なく、義務なく、発展・持続

ビジネスの軸を23. 4度傾けよう

ABC: Alterna Business Community

オルタナ・ビジネス・コミュニティの使命

① 環境・社会貢献の意識が高い経営者、環境・CSR担当者、NPO、大学研究室、各種団体を組織化します。

② 会員間で環境・CSR活動の共同展開、協業、事業提携、共同販促などを実現します。

③ これにより、環境・社会貢献の意識が高い企業を応援し、社会での存在感を高めます。

2010 年 北海道支部が本格稼働します。

北海道と全国の組織を繋ぎ、また、北海道の地域特性に合わせた活動を積極的に行っていきます。

ABCで「グリーンな記者クラブ」GPSを活用しよう。

【グリーンな定義】「グリーン」とは、環境の意識が高い、環境負荷が少ない(エコロジカル)という意味のほか、社会的な(ソーシャル)、エシカル(倫理的な)など、環境、人権、貧困、企業と社会の関わりを包括的に指す言葉です。

——「地球温暖化」「省エネ」「エコなライフスタイル」「自然エネルギー」「水素社会」「バイオマス」「環境税」「排出権取引」「カーボンオフセット」「エコカー」「農業」「林業」「森林資源問題」「フェアウッド」「水産業」「畜産業」「エコ住宅」「エコビレッジ」「オーガニック」「企業の社会的責任(CSR)」「企業とNPOの協業」「環境ビジネス」「コーズマーケティング」「ISO26000」「生物多様性」「BOP」「貧困」「人権」「ジェンダー問題」「ワークライフバランス」「格差社会」など

世界人大学

社会人の基礎体力をつけ、実践を大切にする場として「世界人大学」という学校を作ろうと志しています。

輩出される人は、グリーンな人になってほしい。

2010 年活動指針

「挑戦」と「実践」を大切にする。

基礎的な知識をより深め、「本質」を知る。

「誠実な」プロフェッショナルを輩出する。

「持続可能」な繋がりを構築する。

過去の環境系の活動例

- ・インドからみた環境問題
- ・廃棄物処理側から見た環境問題
- ・有珠山の火口を見に行こう。
- ・トマトコンテスト

連絡先: 「オルタナビジネスコミュニティ北海道支部」

「世界人大学」

横山 光紀 mittz115@gmail.com

090-5222-3678

080-4191-7094 (Softbank)

江別市大麻園町 29-4

NPO 法人コンベンション札幌ネットワーク

ポートランド・オレゴン観光協会

ジェフリー・ハマリー(国際観光部長)

ヴェロニカ・リナード(コミュニティ・リレーションズ・ディレクター)

上記2氏発表資料より

『全米ナンバー1ポートランドの取組』

理事長 藤田 靖 氏



オレゴン州ポートランド市



北緯 45 度より少し北、札幌とほぼ同緯度



・人口

ポートランド市内 57 万 3592 人

ポートランド都市圏 220 万人

オレゴン州 370 万人

・今後 20 年間で 100 万人の人口増加

都市計画の課題: 人口増加に対応。生活の質を保ちながら、CO2排出量を抑える

- ・豊かな自然に囲まれている
- ・夏は暖かく降水量が少ない。
- ・冬は温暖で雨が多い
- ・豊かな農業地帯



・主な産業:

ハイテク、観光業、医療、製造業

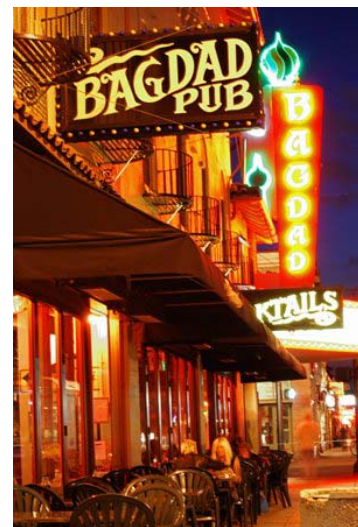
観光業の経済効果 年間 38 億ドル、雇用人数 30 万 5 千人

・個性的な観光地、自然

美食都市: 地ビールとオレゴン・ワイン



・個性的な観光地: アート、自転車文化、ちょっと変わった店や観光地



米国メディアなどの評価

・最もグリーンでサステナブルな都市

・全米ベスト自転車都市

・ベスト・ウォーキングまたはランニング都市



If you live in Portland, you might want to think twice before complaining about the 40-plus inches of rain your head every year. It might be the only thing keeping the entire country from moving to your city by 11 P.m. Portland retained its title as SustainLane's number one city to beat this year-not surprising

サステナビリティに対する行政のアプローチ

- ・1970 年代より開始
- ・住民の声から始まる
 - 大気・水質汚染
 - エネルギーコストの上昇

環境・サステナビリティ計画

- ・1979 年 地域エネルギー計画
- ・1993 年 二酸化炭素削減戦略
- ・2001 年 地球温暖化対策アクションプラン
- ・2008 年 気候変動防止戦略

サステナビリティ政策

- ・グリーン建築： LEED 認証が必要
- ・1 万平方フィート以上の建物
- ・20 万ドルまたはコスト 10% の補助金

廃棄物 削減

- ・事業者は廃棄物 50% 以上をリサイクルする必要がある
- ・新しい条例を計画中
- ・レストランやホテルでは食べ残しをコンポストに
- ・建物の解体などで出た廃棄物をリサイクル
- ・将来の目標 市全体のリサイクル率 75% に

バイオ燃料

- ・全米で唯一バイオ燃料の使用を義務付け
- ・ディーゼル燃料は最低限 5% のバイオ燃料を含まなくてはならない
- ・ガソリンは 10% エタノールを含まなくてはならない
- ・2010 年バイオ燃料含有量 10% に

技術的な援助や補助金

- ・リサイクルやコンポスト設置の援助
- ・太陽光発電パネル設置補助
- ・グリーン建築補助金 3 百 30 万ドル
- ・バイオ燃料研究 57 万ドル

全体計画

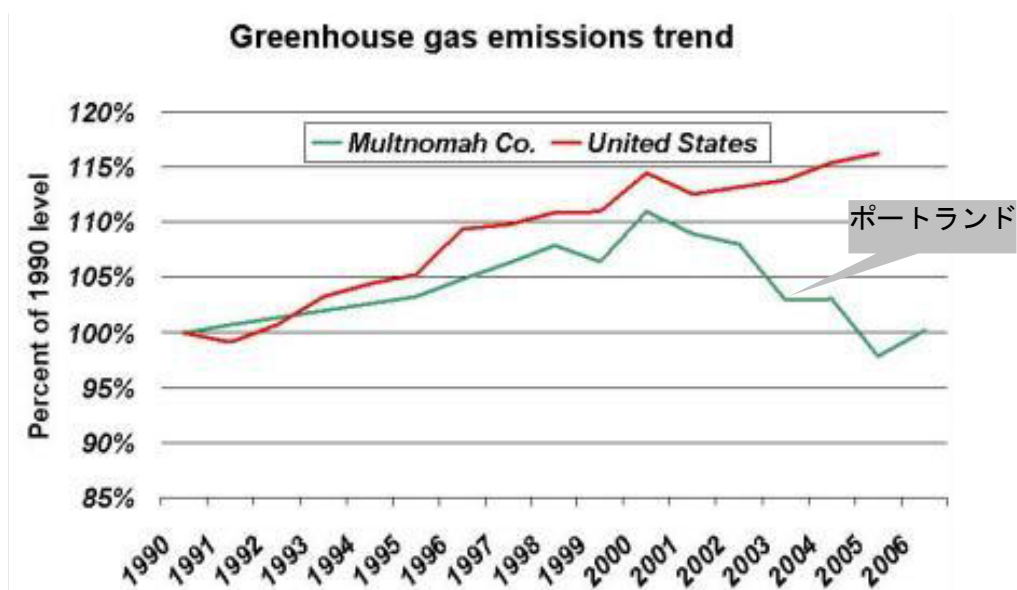
- ・重要課題
- ・地球温暖化と石油産出量の減少
- ・ゴール: 25 年間で石油と天然ガスの消費を 50% 削減
- ・土地利用と公共交通機関
- ・食料と農業
- ・公共福祉サービス
- ・経済の変化
- ・自転車交通



成果

- ・人口あたりのグリーン・ビルディング数が全米一
- ・ハイブリッド車の所有率が全米一
- ・公共交通機関の利用者数 85%増加、自転車通勤者数 4 倍に
- ・自動車走行距離が 7 % 減
- ・ガソリンの売り上げ 13%減
- ・世帯あたりのエネルギー消費量 5%減
- ・リサイクル率が 3 倍

温室効果ガス排出量の変化（1990 年比）



グリーン配当金



ポートランド観光協会や民間企業の取り組み

- ・グリーンミーティング誘致から開始
- ・全米グリーン建築評議会 2004 年コンファレンス
- ・サステナブル運営のホテルや会議施設が必要
- ・LEED認証のコンベンションセンター、ホテルが運営改善
- ・グリーンシール認証ホテル 7 件、他も準備中



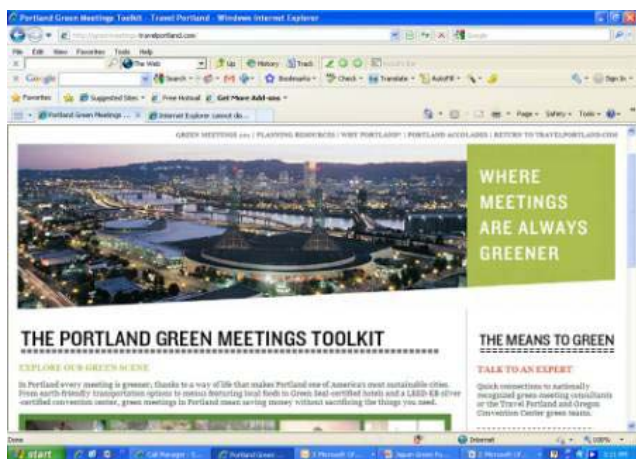
ポートランド観光協会での取り組み

- ・グリーンチームを結成
- ・日々の運営
 - ゴミ削減(減少、再利用、リサイクル)
 - 再生可能エネルギー、エネルギー効率
 - ハイブリッド車、カーシェア、公共交通機関、自転車の利用
- ・業界向け情報提供、推進
 - 教育セミナー
 - グリーン会員企業リスト

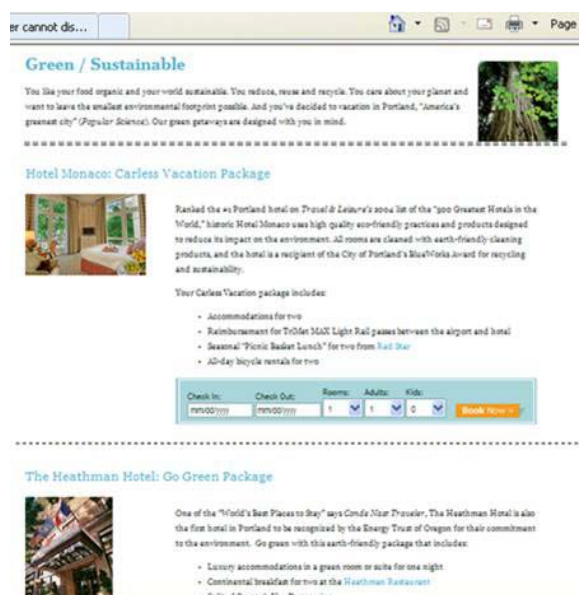


Recycle at Work
from Metro and the Washington County
Cooperative Recycling Program

・グリーンミーティング・ツールキット



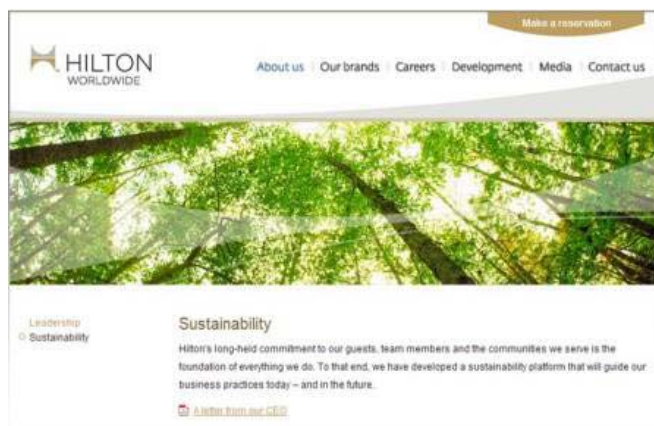
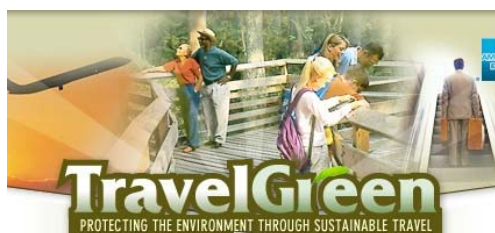
観光旅行マーケット



グローバル・サステナブル・ツーリズム基準

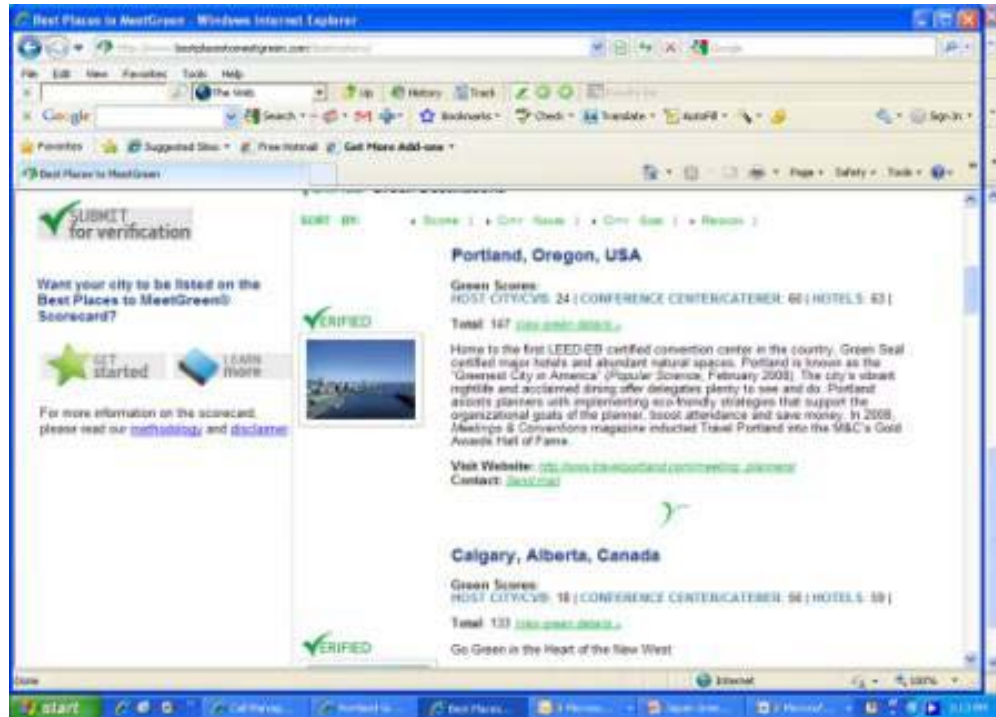
- ・40以上の国際的団体が連携
- ・サステナブル・ツーリズム 共通の枠組み設定
<http://www.sustainabletourismcriteria.org/>
- ・4つの重要素
 - 持続可能性のための計画づくり
 - 社会的・経済的恩恵を最大化
 - 文化遺産を生かす
 - 環境への悪影響を最小限に

サステナブルが主流に



ミート・グリーン

グリーン会議開催地 得点制度



日本におけるサステナブル・ツーリズムの可能性

- ・日本エコツーリズム協会

<http://www.ecotourism.gr.jp>

- ・エコロッジ協会

<http://www.japan-ecolodge.org>

- ・環境省のエコツーリズム・プログラム

- ・国際的なリソース

グローバル・サステナブル・ツーリズム基準

www.sustainabletourismcriteria.org

ナチュラル・ステップ

www.naturalstep.org

www.tnsij.org/（日本語）

サステナブル・トラベル・インターナショナル

www.sustainabletravelinternational.org

グリーンシール

www.greenseal.org

連絡先: NPO 法人コンベンション札幌ネットワーク

TEL 011-211-3675 FAX 011-232-3833

URL <http://www.sapporo-convention.net>

会場:アースカフェ・インザループ(札幌市北区北 14 条西 3 丁目ル・ソレイユ 1 階)



(エコ・カレッジ通信、開催当日の様子はウェブサイトからご覧いただけます)
詳しくはこちらまで ↓

作成:北海道 GPN 事務局(担当 大内)

〒060-0002 北海道札幌市中央区北 2 条西 14 丁目 2-3

連絡先:TEL 011-222-0234 FAX 011-222-0235

E-mail : staff@hokkaido-gpn.org

URL : <http://www.hokkaido-gpn.org/>